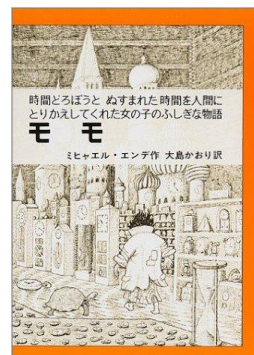


読書の秋に

朝夕、ずいぶんと涼しくなりました。秋の訪れが感じられます。読書のシーズンも到来！そこで、私のお気に入りの一冊を紹介します。それは、『モモ - 時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にとりかえてくれた女の子のふしぎな物語』（ミヒヤエル・エンデ作、大島かおり訳、岩波書店、1976年）です。体裁は児童文学ながら、大人に向けての示唆に富んだ名作です。



この物語には「灰色の男たち」が登場します。彼らは、「よい暮らし」をするには無駄な時間を儉約することと、言葉巧みに人々に信じ込ませて、人間からその時間を盗んでいきます。時間を盗まれてしまった人間は、以前よりもよい洋服が着られ、稼ぎも多くなりましたが、いつも不機嫌で、くたびれた怒りっぽい顔をして、余計なことは一切せず、とげとげしい目つきで、何かにとりつかれたように働くようになりました。人々はとりとめのないお喋りやゆとりのある生活を失ってしまいました。

一方、子どもたちは、「将来のためになる」勉強だけを親に強制されていました。細かなところまで至れり尽くせりに作られた高価なおもちゃを与えられ、仲間と一緒に遊ぶこともなくなりました。想像力や空想力はもちろん、「友だち」さえも失ってしまいました。

時間を盗まれた人たちは、まるで現代の私たちの姿のように感じられます。本書は、「灰色の男たち」と主人公モモとの対決を通して、時間に追われて心の豊かさを失った現代社会へ警鐘を鳴らしているのではないのでしょうか。

学力・学習状況調査等の結果から

4月に実施された全国、県、市の学力・学習状況調査の結果に基づいて、次のとおり課題を把握し、今後の学習指導や生活指導に取り組んでまいります。

1 傾向及び課題について

- ・ どの教科も基礎的・基本的な学習内容については学力が定着している。
- ・ 国語においては作文に、数学においては図形や関数、量と測定、数量関係に関する領域の問題に課題が見られる。
- ・ 理科においてはオームの法則や生命・地球に、社会においては歴史に関する領域の問題に課題が見られる。
- ・ 宿題をしている生徒の割合は高いが、計画を立てて学習している生徒の割合は高くない。
- ・ 自己肯定感が高いほど、好ましい生活・学習習慣を身に付けている生徒の割合が高い。

2 課題に対する取組について

- ・ 各種検査の結果に基づいて個に応じた指導を見直し、授業の改善を図る。
- ・ 授業における話し合い学習により、自分の考えを筋道を立てて話す力を育成する。
- ・ 自主的・計画的に宿題に取り組めるよう、量や質の見直しを図ったり、自主学習ノートを奨励したりする。
- ・ 小学校とも連携した「ノーメディアデー」の取組等により、家庭学習の時間確保を図る。
- ・ 行事や生徒会活動において自主的な活動の場を確保し、達成感と自己肯定感を高める。
- ・ 各種活動・行事を行う中で、きまりを守り、支え合い・高め合う仲間づくりを目指す。